

令和元年度
群馬動物専門学校
学校関係者評価報告書

学校法人H A C 国際学園

群馬動物専門学校

令和2年3月

令和2年3月23日

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人HAC国際学園 群馬動物専門学校 学校関係者評価委員会は「令和元年度 群馬動物専門学校 学校自己評価報告書」に基づき、学校関係者評価を実施し、以下にこれを報告いたします。

開催日時 令和2年3月17日（木）15：00～16：00

出席者 委員長以下4名

議事次第

1. 開会
2. 令和元年度自己評価報告
3. 意見交換、質疑
4. 閉会

まず、学校長が自己評価項目とその評価について1項目ずつ説明をし、その後、企業委員に意見を求めた。

①2. 学校運営「情報システム化による業務の効率化が図られているか」の項目について

教職員のパソコンの入れ替えや、情報共有システム導入により業務効率が上がったと考えられる。引き続き、お互いをサポートし共有し合える環境を整えていきたい。

②4. 学修成果「退学率の低減が図られているか」の項目について

平成30年度生においては、退学者を出さず全員卒業することができた。近年では学生数の多い学年だったため、評価につながる結果となった。

③6. 教育環境「施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」の項目について

動物看護師系の授業や実習で使用する器具、機材を購入し、より実践に近い環境を整備した。国家資格化へのカリキュラムにも対応できるよう随時、授業環境整備に努める。

④ 7. 学生の受入れ募集「学生募集活動は適正に行われているか」の項目について

同日に複数のガイダンス依頼があった際に対応できないことがあった。募集活動を行える職員を増やせるように努める。

⑤ 10. 社会貢献・地域貢献「学生のボランティア活動を奨励、支援しているか」の項目について

今年度は、台風や感染症などで活動の場が提供できない年であったが、毎年参加している動物愛護ふれあいフェスティバルのボランティア募集以外にも率先して働きかけていくよう努める。

<委員意見>

□学校自己評価について

- ・自己評価は全体的に適切だと思う。新コアカリキュラムへ対応するための見直しや、職員の職場環境整備等により、学校及び教師と学生との関係をより良いものにしていることが、動物看護師統一認定試験等、資格の合格率、退学率の低減を見て明らかである。
- また、獣医師免許保持者を常勤職員に迎えたことより、実習犬の体調管理や薬品管理、授業内容の見直し、実践的に動ける学生教育指導に結果が出ている。
- 企業連携では、卒業生が母校で現場や業界のことを説明しに行くことがある。勤務の一環として会社では学校に出向いてもらっているのだから、取り入れてみるのはどうか。

<学校側意見>

今後も楽観的にならずに、自由に意見交換できる場を目指している。
課題がある項目については、順次対応することを確認し閉会した。

以上

令和元年度
群馬動物専門学校
学校自己評価報告書

学校法人H A C 国際学園

群馬動物専門学校

令和2年3月

令和元年度評価（令和2年3月17日）

<教育目標>

疾病動物の医療介助や看護のみならず、臨床検査、病院実務、動物の保健飼養管理、ヒューマン・アニマル・ボンド（Human Animal Bond：人と動物の絆）、公衆衛生など広く動物の保健・医療・飼養管理や、人と動物の関わりなどの理解と問題解決に必要な知識・技術を総合的に学び、人と動物が好ましい関係を保ちながら共生できる社会づくりに活躍できる技術者（Veterinary Technician：VT）の養成を目標としています。

<教育方針>

豊かで温かい人間性を養うとともに、自発的に時代のニーズに応じて専門職としての資質を不断に高め、直面した問題の内容を正しく見極めて、的確に問題解決に当たれる柔軟な思考力と豊かな経験、確かな知識・技術と応用能力を持った動物看護師などの専門家を養成できるよう、特に建学の精神である体験実習重視の方針の下に教育を行います。

評価の判定	4…適切	3…ほぼ適切	2…やや不適切	1…不適切
-------	------	--------	---------	-------

1. 教育理念・目標

評価項目	評価
・教育理念・教育方針、育成人材像は定められているか	4
・学生に対して教育理念等の周知徹底を図っているか	4
・学校外の方に対して教育理念等を公表しているか	4

2. 学校運営

評価項目	評価
・運営方針は定められているか	3
・運営組織や意思決定システムが整備されているか	3
・情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化による業務の効率化が図られているか	3
・他校にはない特色化を推進しているか	4

<現状認識・評価>

- ・教職員のパソコンの入れ替えや、情報共有システム導入により業務効率が上がったと考えられる。

3. 教育活動

評価項目	評価
・学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	3
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
・資格取得の指導体制はあるか	4
・専門職としての知識・技術を備えた教員を確保しているか	4
・インターンシップ等の実践的な職業教育が体系的に行われているか	4

4. 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4

<現状認識・評価>

- ・平成 30 年度生においては退学者が出ず全員卒業することができた。
- ・資格取得について、動物看護師統一認定試験合格率 100% を達成した。

5. 学生支援

評価項目	評価
・学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3
・学生に対し、奨学金制度等の支援は行われているか	4
・入学生に対する特待生制度は有効に機能しているか	4
・学生に対し、定期的に健康診断をおこなっているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3

6. 教育環境

評価項目	評価
・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学外実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を支援しているか	4

<現状認識・評価>

- ・動物看護師系の授業や実習で使用する器具、機材を購入し、より実践に近い環境を整備した。

7. 学生の受入れ募集

評価項目	評価
・ 学生募集活動は適正に行われているか	3
・ 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3
・ 学納金は妥当なものとなっているか	3
・ 教育訓練給付制度を利用した社会人の受入れ体制が整備されているか	3

<現状認識・評価>

- ・ 令和元年度生で、教育訓練給付制度を利用する学生が入学した。
- ・ 学生募集活動は、同日に複数のガイダンス依頼があった際に対応できないことがあった。募集活動を行える職員を増やせるよう努める。

8. 財務

評価項目	評価
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
・ 予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか	3
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	3
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	3

<現状認識・評価>

- ・ 財務情報は、学校ホームページで公開している。
- ・ 会計監査は、毎月会計士により適正に行われている。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
・ 個人情報に関し、保護対策がとられているか	3

<現状認識・評価>

- ・ 個人情報を扱うシステムにはパスワードを設定し、扱いには注意している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・ 企業・地域との連携を図っているか	3

<現状認識・評価>

- ・ 今年度は、台風や感染症などで活動の場が提供できない年であったが、毎年参加している動物愛護ふれあいフェスティバルのボランティア募集以外にも率先して働きかけていくよう努める。

以上